

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

AA

(11)Publication number : 10-177534

(43)Date of publication of application : 30.06.1998

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

(21)Application number : 08-352910

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 13.12.1996

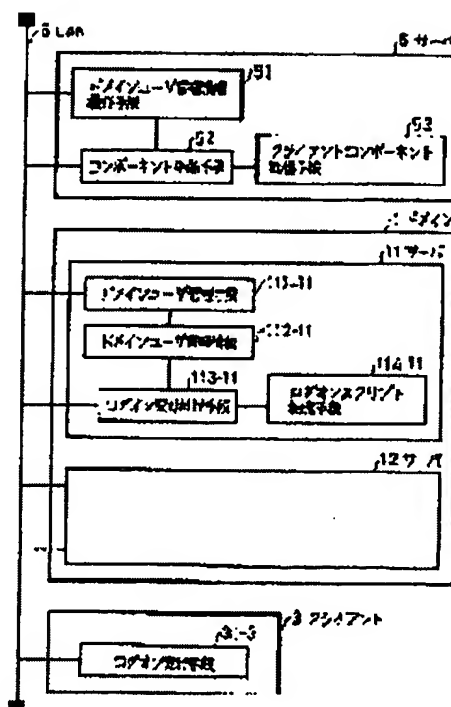
(72)Inventor : FUJITA TOMOO

(54) METHOD FOR INSTALLING CLIENT COMPONENT

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a domain system to install a client component in a client even when no client component is prepared in all servers in a domain.

SOLUTION: The client component is prepared only in a specific server (for example, a server 5) designated from a manager. In addition, a log-on script in which the processing for installing the client component prepared in the server 5 is described is prepared in each server 11 and 12 in a domain 1. When a client 3 makes a log-on request to the domain 1, one server in the domain 1 accepts the request and informs the client 3 of the log-on script. The client 3 installs the client component prepared in the server 5 in accordance with the informed log-on script.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

13.12.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

2985809

[Date of registration]

01.10.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-177534

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月30日

(51) Int.Cl.⁹

G 0 6 F 13/00

識別記号

3 5 7

F I

G 0 6 F 13/00

3 5 7 Z

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願平8-352910

(22) 出願日 平成 8 年 (1996) 12 月 13 日

(71) 出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号

(72) 発明者 藤田 朋生

東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

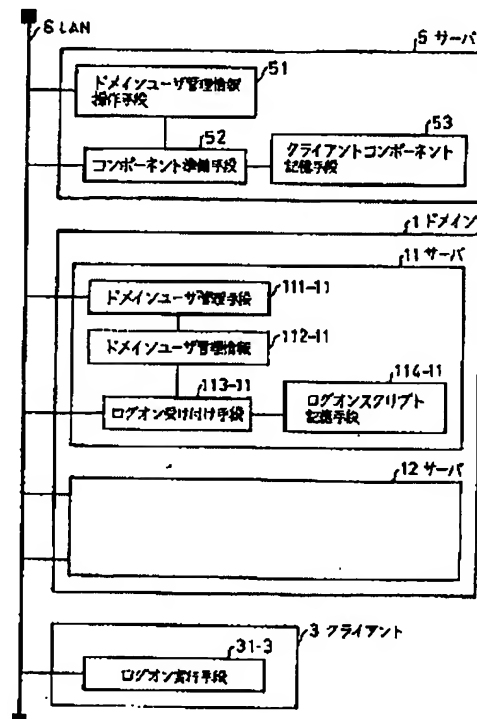
(74) 代理人 弁理士 境 廣巳

(54) 【発明の名称】 クライアントコンポーネントのインストール方法

(57) 【要約】

【課題】 ドメインシステムに於いて、ドメイン内の全てのサーバにクライアントコンポーネントを準備しておくことなく、クライアントにクライアントコンポーネントをインストールできるようにする。

【解決手段】 管理者によって指定された特定サーバ（例えば、サーバ5）のみに、クライアントコンポーネントを準備しておく。また、ドメイン1内の各サーバ11、12に、特定サーバ5に準備されているクライアントコンポーネントをインストールするための処理が記述されたログオンスクリプトを準備しておく。クライアント3からドメイン1に対するログオン要求があると、ドメイン1内の何れかのサーバがそれを受け付け、ログオンスクリプトを要求元のクライアント3に通知する。要求元のクライアント3は、通知されたログオンスクリプトに従って特定サーバ5に準備されているクライアントコンポーネントをインストールする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ドメインコントローラとなるサーバを複数含むドメインとクライアントとがネットワークを介して接続されたコンピュータネットワークシステムに於いて、

前記ネットワークに接続されているサーバの内の管理者によって指定された特定サーバに、前記クライアントへインストールするクライアントコンポーネントを準備し、

前記ドメインコントローラとなる各サーバに、前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントをクライアントがインストールするための処理を記述したログオンスクリプトを準備し、

前記ドメインコントローラとなる各サーバの内の、前記クライアントからのログオン要求を受け付けたサーバが、自サーバに準備されている前記ログオンスクリプトを前記要求元のクライアントに通知し、

要求元のクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従って前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントにインストールすることを特徴とするクライアントコンポーネントのインストール方法。

【請求項2】 前記ログオンスクリプトは、クライアントコンポーネントのインストールが済んでいるか否かを判断する処理の記述を含み、

ログオン要求を行ったクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従ってクライアントコンポーネントのインストールが済んでいるか否かを判断し、済んでいないと判断した場合のみ前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントにインストールすることを特徴とする請求項1記載のクライアントコンポーネントのインストール方法。

【請求項3】 ドメインコントローラとなるサーバを複数含むドメインとクライアントとがネットワークを介して接続されたコンピュータネットワークシステムに於いて、

前記ドメインに含まれないサーバを前記ネットワークに接続して該サーバに前記クライアントへインストールするクライアントコンポーネントを準備し、

前記ドメインコントローラとなる各サーバに、前記ドメインに含まれないサーバに準備されているクライアントコンポーネントをクライアントがインストールするための処理を記述したログオンスクリプトを準備し、

前記ドメインコントローラとなる各サーバの内の、前記クライアントからのログオン要求を受け付けたサーバが、自サーバに準備されている前記ログオンスクリプトを前記要求元のクライアントに通知し、

要求元のクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従って前記ドメインに含まれないサーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントに

インストールすることを特徴とするクライアントコンポーネントのインストール方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ドメインコントローラとなるサーバを複数含むドメインとクライアントとがネットワークを介して接続されたコンピュータネットワークシステムに於いて、クライアントへクライアントコンポーネントを自動的にインストールするクライアントコンポーネントのインストール方法に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、ドメインコントローラとなる複数のサーバを含むドメインとクライアントとをLAN等のネットワークを介して接続したコンピュータネットワークシステムが実用化されている。このようなコンピュータネットワークシステムとしては、例えば、Windows NTによるクライアント/サーバシステムがある。

【0003】ところで、Windows NTによるクライアント/サーバシステムに於いては、クライアントのドメインへの加入時等に、クライアントにクライアントコンポーネントを自動的にインストールするため、従来は、次のようにしていた。クライアントがドメインに対してログオン要求を行うと、ドメイン内の1台のドメインコントローラがそれを受け付け、ログオン処理を実行する。このログオン処理に於いて、ドメインコントローラは、自装置内のハードディスク上に準備していたクライアントコンポーネントを要求元のクライアントにインストールする（例えば、「Microsoft Systems Management Server 管理者ガイド」、P97～P98、1995年3月1日第1刷発行、マイクロソフト株式会社）。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の技術は、ドメイン内の1台のドメインコントローラがクライアントからのログオン要求を受け付け、ログオン要求を受け付けたドメインコントローラがクライアントコンポーネントを要求元のクライアントにインストールするようにしている。このため、ドメイン内の全てのドメインコントローラにクライアントコンポーネントを準備しておく必要があり、各ドメインコントローラ内のハードディスクがクライアントコンポーネントを準備しておくために大量に消費されてしまうという問題があった。

【0005】そこで、本発明の目的は、ドメイン内の全てのドメインコントローラにクライアントコンポーネントを準備しておかなくとも、クライアントにクライアントコンポーネントをインストールすることができるクライアントコンポーネントのインストール方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための下段】本発明は上記目的を達成するため、ドメインコントローラとなるサーバを複数含むドメインとクライアントとがネットワークを介して接続されたコンピュータネットワークシステムに於いて、前記ネットワークに接続されているサーバの内の管理者によって指定された特定サーバに、前記クライアントへインストールするクライアントコンポーネントを準備し、前記ドメインコントローラとなる各サーバに、前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントをクライアントがインストールするための処理を記述したログオンスクリプトを準備し、前記ドメインコントローラとなる各サーバの内の、前記クライアントからのログオン要求を受け付けたサーバが、自サーバに準備されている前記ログオンスクリプトを前記要求元のクライアントに通知し、要求元のクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従って前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントにインストールする。

【0007】更に、本発明は、既にインストール済みのクライアントコンポーネントに対して何回もインストール処理が行われないようにするため、前記ログオンスクリプトは、クライアントコンポーネントのインストールが済んでいるか否かを判断する処理の記述を含み、ログオン要求を行ったクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従ってクライアントコンポーネントのインストールが済んでいるか否かを判断し、済んでいないと判断した場合のみ前記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントにインストールする。

【0008】また、本発明は、ドメインコントローラとなるサーバの負荷を低減させるため、ドメインコントローラとなるサーバを複数含むドメインとクライアントとがネットワークを介して接続されたコンピュータネットワークシステムに於いて、前記ドメインに含まれないサーバを前記ネットワークに接続して該サーバに前記クライアントへインストールするクライアントコンポーネントを準備し、前記ドメインコントローラとなる各サーバに、前記ドメインに含まれないサーバに準備されているクライアントコンポーネントをクライアントがインストールするための処理を記述したログオンスクリプトを準備し、前記ドメインコントローラとなる各サーバの内の、前記クライアントからのログオン要求を受け付けたサーバが、自サーバに準備されている前記ログオンスクリプトを前記要求元のクライアントに通知し、要求元のクライアントは、通知されたログオンスクリプトに従って前記ドメインに含まれないサーバに準備されているクライアントコンポーネントを自クライアントにインストールする。

【0009】

【発明の実施の形態】次に本発明の実施の形態について

図面を参照して詳細に説明する。

【0010】図2は本発明のクライアントコンポーネントのインストール方法を適用するコンピュータネットワークシステムの一例を示した図である。このコンピュータネットワークシステムは、ドメイン1、2と、クライアント3、4と、ドメインに含まれないサーバ5とが互いにLAN6を介して接続されている。

【0011】ドメイン1は、プライマリドメインコントローラとなるサーバ11と、バックアップドメインコントローラとなるサーバ12とを含んでいる。

【0012】ドメイン2は、プライマリドメインコントローラとなるサーバ21と、バックアップドメインコントローラとなるサーバ22とを含んでいる。

【0013】図1はドメイン1内のサーバ11、クライアント3、サーバ5の構成例を示したブロック図である。

【0014】ドメイン1内のサーバ11は、ドメインユーザ管理手段111-11と、ドメインユーザ管理情報112-11と、ログオン受け付け手段113-11と、ログオンスクリプト記憶手段114-11とを備えている。

【0015】ドメインユーザ管理手段111-11は、ドメインユーザ管理情報112-11を変更、設定する機能や、同ドメイン1内のサーバ11、12間のドメインユーザ管理情報の整合性を保つ機能等を有する。

【0016】ドメインユーザ管理情報112-11は、図3に示すように、ドメイン1に対してログオン可能なユーザのアカウント名と、認証情報と、ログオン時に実行される処理名(ログオンスクリプト名)とを含んでいる。ここで、認証情報は、全てのアカウント名に対して設定しておくことが必要になるが、ログオンスクリプト名は必ずしも全てのアカウント名に対して設定しておく必要はない。図3の例は、アカウント名USR1に対する認証情報、ログオンスクリプト名がそれぞれPASS1、LS1で、アカウント名USR2に対する認証情報がPASS2であることを示している。

【0017】ログオン受け付け手段113-11は、クライアントからのログオン要求を受け付け、要求元のクライアントにログオンスクリプトを通知する機能等を有する。

【0018】ログオンスクリプト記憶手段114-11には、ログオンスクリプトが登録されている。

【0019】尚、他のサーバ12、21、22もサーバ11と同様の構成を有しており、以下の説明に於いては、各サーバ11、12、21、22内のドメインユーザ管理手段、ドメインユーザ管理情報、ログオン受け付け手段、ログオンスクリプト記憶手段を区別するため、サーバ12、21、22内のものには、それぞれ符号12、21、22を付すものとする。従って、例えばドメインユーザ管理情報112-22と記した場合、

このドメインユーザ管理情報は、サーバ22が管理しているドメインユーザ管理情報を表すことになる。

【0020】クライアント3は、ログオン処理を実行するログオン実行手段31-3を備えている。尚、クライアント4もクライアント3と同様の構成を有しており、以下の説明に於いては、クライアント3、4内のログオン実行手段を区別するため、クライアント4内のログオン実行手段には符号31-4を付すものとする。

【0021】サーバ5は、ドメインユーザ管理情報操作手段51と、コンポーネント準備手段52と、クライアントコンポーネント記憶手段53とを備えている。

【0022】ドメインユーザ管理情報操作手段51は、サーバ11、12、21、22内のドメインユーザ管理情報112-11、112-12、112-21、112-22を操作する機能を有する。

【0023】コンポーネント準備手段52は、クライアントにインストールするクライアントコンポーネントを、管理者によって指定されたサーバ上の指定されたドライブにコピーする機能を有する。

【0024】クライアントコンポーネント記憶手段53は、例えば、ハードディスクにより構成され、クライアント3、4にインストールするクライアントコンポーネントを格納する。

【0025】図4はサーバ5内のドメインユーザ管理情報操作手段51の処理例を示す流れ図、図5はコンポーネント準備手段52の処理例を示す流れ図、図6はサーバ11、12、21、22内のドメインユーザ管理手段111-11、111-12、111-21、111-22の処理例を示す流れ図、図7はサーバ11、12、21、22内のログオン受け付け手段113-11、113-12、113-21、113-22の処理例を示す流れ図、図8はクライアント3、4内のログオン実行手段31-3、31-4の処理例を示す流れ図であり、以下各図を参照して本実施例の動作について説明する。

【0026】システムの管理者は、クライアント3、4にインストールするクライアントコンポーネントを特定のサーバ上に準備する場合、ドメインユーザ管理情報操作手段51に対して、クライアントコンポーネントの準備指示を与える。

【0027】この指示を受けると、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、図9に示すような設定画面を図示を省略したCRT等に表示する(図4、S41)。これにより、管理者は、表示された設定画面を用いて、クライアントコンポーネントを準備するサーバのサーバ名、ドライブ名を設定すると共に、ドメインユーザ管理情報の変更対象とするドメインのドメイン名を設定する。そして、設定が完了すると、設定画面上のOKボタンをクリックする。今、例えば、図9に示すように、クライアントコンポーネントを準備するサーバのサーバ名、ドライブのドライブ名としてそれぞれサーバ5、ドライブC

の名前SERVER5、DRIVECが、ドメインユーザ管理情報112の変更対象とするドメインのドメイン名としてドメイン1、2のドメイン名DOMAIN1、DOMAIN2が設定されたとする。

【0028】ドメインユーザ管理情報操作手段51は、OKボタンがクリックされると、コンポーネント準備手段52に対して、設定画面に設定されているサーバ5のドライブCにクライアントコンポーネントを準備することを要求する(S42)。

【0029】この要求を受けると、コンポーネント準備手段52は、クライアントコンポーネント記憶手段53からクライアントコンポーネントを読み出し、それをサーバ5のドライブCにコピーする(図5、S51)。

【0030】コンポーネント準備手段52の処理が完了すると、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、LAN6を介してドメイン1内に存在するサーバ11、12の内の何れか一方に対してドメインユーザ管理情報の入手を要求すると共に、ドメイン2内に存在するサーバ21、22の内の何れか一方に対してドメインユーザ管理情報の入手を要求する(図4、S43)。ここで、ドメイン1内のサーバ11、12が保持しているドメインユーザ管理情報112-11、112-12は、ドメインユーザ管理手段111-11、111-12によって整合性が保たれており、また、ドメイン2内のサーバ21、22が保持しているドメインユーザ管理情報112-21、112-22はドメインユーザ管理手段111-21、111-22によって整合性が保たれているので、同一ドメイン内の何れのサーバに対してドメインユーザ管理情報の入手を要求しても得られる内容は同一になる。

【0031】今、例えば、ドメインユーザ管理情報操作手段51が、LAN6を介してドメイン1内のサーバ11に対してドメインユーザ管理情報112-11の入手を要求すると共に、ドメイン2内のサーバ22に対してドメインユーザ管理情報112-22の入手を要求したとする。

【0032】この要求は、サーバ11、22内のドメインユーザ管理手段111-11、111-22によって受信される(図6、S61)。

【0033】ドメインユーザ管理手段111-11、111-22は、LAN6を介してドメインユーザ管理情報操作手段51からの要求を受信すると、その要求がドメインユーザ管理情報112-11、112-22の入手を要求しているものである(S62がYES)、サーバ11、22が保持しているドメインユーザ管理情報112-11、112-22をドメインユーザ管理情報操作手段51へ送信する(S63)。

【0034】ドメインユーザ管理情報操作手段51は、ドメインユーザ管理手段111-11、111-22からドメイン1、2のドメインユーザ管理情報112-1

1, 112-22を入手すると(図4, S44)、ドメインユーザ管理手段111-11, 111-22に対してドメインユーザ管理情報及びログオンスクリプトの変更を要求する(S45)。

【0035】このS45の処理を、例を挙げて詳しく説明する。今、例えば、S44に於いてサーバ1, 22内のドメインユーザ管理手段111-11, 111-22から入手したドメイン1, 2のドメインユーザ管理情報112-11, 112-22が図10に示すものであったとする。

【0036】図10を参照すると、ドメイン1のドメインユーザ管理情報112-11にはUSR1, USR2の2つのアカウント名が存在し、一方のアカウント名USR1に対してはログオンスクリプト名LS1が設定されているが、他方のアカウント名USR2に対してはログオンスクリプト名が設定されていない。また、ドメイン2のドメインユーザ管理情報112-22には、USR3, USR4の2つのアカウント名が存在し、一方のアカウント名USR3に対してはログオンスクリプト名LS2が設定されているが、他方のアカウント名USR4に対してはログオンスクリプト名が設定されてい

【0037】その後、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、ドメインユーザ管理手段111-11, 111-22から送られてきたドメインユーザ管理情報112-11, 112-22の内の1つに注目する。今、例えば、ドメイン1のドメインユーザ管理情報112-11に注目したとする。

【0038】次いで、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、サーバ11に対して、ログオンスクリプト名が設定されていないアカウント名USR2にログオンスクリプト名LS3を設定することを要求すると共に、アカウント名USR1に対して設定されているログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトにログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトの内容を追加することを要求し、更に、ログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトを送る。

【0039】ここで、ログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトは、以下の処理を行わせるための記述a~dを含むものである。

【0040】a. クライアントコンポーネントをインストール済みか否かを判断し、インストール済みである場合には処理を終了し、インストール済みでない場合にはそれ以降に記述されている処理を行う。

b. 図9に示す設定画面によって設定されたサーバ5のドライブCへの接続要求を行う。

c. サーバ5のドライブCに準備されているクライアントコンポーネントのローカルディレクトリへのコピー要求を行う。

d. サーバ5のドライブCとの切断要求を行う。

【0041】ドメイン1のドメインユーザ管理情報112-11についての処理が完了すると、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、サーバ22内のドメインユーザ管理手段111-22から送られてきたドメイン2のドメインユーザ管理情報112-22に注目する。

【0042】次いで、ドメインユーザ管理情報操作手段51は、サーバ22に対して、ログオンスクリプト名が設定されていないアカウント名USR4にログオンスクリプト名LS3を設定することを要求すると共に、アカウント名USR3に対して設定されているログオンスクリプト名LS2のログオンスクリプトにログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトの内容を追加することを要求し、更に、ログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトを送る。以上で、S45の処理は終了する。

【0043】サーバ5内のドメインユーザ管理情報操作手段51からサーバ11へ出力されたドメインユーザ管理情報等に対する変更要求は、サーバ11内のドメインユーザ管理手段111-11で受信される(図6, S61)。

【0044】ドメインユーザ管理手段111-11は、上記要求を受信すると、その要求がドメインユーザ管理情報等の変更を要求しているものであることから(図6, S64がYES)、S65の処理を行う。

【0045】S65に於いて、ドメインユーザ管理手段111-11は、先ず、ドメインユーザ管理情報操作手段51から送られてきたログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトをログオンスクリプト記憶手段114-11に格納する。次いで、ドメインユーザ管理情報操作手段51から送られてきた要求に従ってドメインユーザ管理情報112-11中のアカウント名USR2に対してログオンスクリプト名LS3を設定する。次いで、ログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトの内容を追加することを要求されたログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトに、既にその内容が含まれているか否かを調べる。そして、含まれていない場合のみ、ログオンスクリプト記憶手段114-11に格納されているログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトに、ログオンスクリプト名LS3のログオンスクリプトの内容を追加する。

【0046】また、サーバ5内のドメインユーザ管理情報操作手段51からサーバ22へ出力されたドメイン管理情報等に対する変更要求は、サーバ22内のドメインユーザ管理手段111-22で受信され(図6, S61)、前述したと同様の処理が行われる。

【0047】以上の処理が行われることにより、ドメイン1, 2のドメインユーザ管理情報は、図11に示すものとなる。

【0048】その後、例えば、クライアント3のログオン実行手段31-1がドメイン1に対してログオン要求

を行うと(図8, S81)、そのログオン要求は、ドメイン1を構成するサーバ1内のログオン受け付け手段113-11或いはサーバ12内のログオン受け付け手段113-12によって受け付けられる。尚、ログオン要求には、アカウント名、認証情報が含まれている。

【0049】今、例えば、サーバ1内のログオン受け付け手段113-11がログオン要求を受け付けたとすると、ログオン受け付け手段113-11は、ドメインユーザ管理情報112-11を参照し、ドメインユーザ管理情報112-11中の認証情報とログオン要求中の

認証情報とに基づいて正しいログオン要求であるか否かを判断する(図7, S71, S72)。
【0050】そして、正しいログオン要求であると判断した場合(S72がYES)のみ、ログオン受け付け手段113-11は、ログオン要求に含まれているアカウント名と対応してドメインユーザ管理情報112-11中に設定されているログオンスクリプト名を取得し、更に、取得したログオンスクリプト名のログオンスクリプトをログオンスクリプト記憶手段114-11から読み出し、読み出したログオンスクリプトを要求元のクライアント3内のログオン実行手段31-3に通知する(S73)。今、例えば、クライアント3からのログオン要求にアカウント名USR1が含まれているとすると、ログオン受け付け手段113-11は、ログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトを要求元のクライアント3内のログオン実行手段31-3に通知することになる(図11参照)。

【0051】クライアント3内のログオン実行手段31-3は、ログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトが通知されると、ログオン要求が受け付けられたものと判断し(S82がYES)、通知されたログオンスクリプトに従ったログオン処理を実行する。

【0052】ここで、通知されたログオンスクリプト名LS1のログオンスクリプトには、前記したa~dの記述が含まれているので、ログオン実行手段31-3は、以下の処理を行うことになる。

【0053】先ず、クライアントコンポーネントをインストール済みか否かを判断する。そして、インストール済みであると判断した場合は処理を終了し、インストール済みでないと判断した場合は、サーバ5のドライブCへの接続要求を行う。次いで、サーバ5のドライブCに準備されているクライアントコンポーネントのローカルディレクトリへのコピー要求を行う。これにより、サーバ5のドライブCに準備されているクライアントコンポーネントがクライアント3にインストールされる。その後、サーバ5のドライブCとの切断要求を行う。

【0054】尚、上述した実施例に於いては、ドメインユーザ管理情報操作手段51、コンポーネント準備手段52、クライアントコンポーネント記憶手段53を、ドメインに含まれていないサーバ5に設けるようにした

が、ドメイン1, 2内のサーバ11, 12, 21, 22の何れか1つに上記した各手段51, 52, 53を設けるようにしても良い。この場合は、サーバ5は不要となる。しかし、実施例のように、ドメインに含まれないサーバ5をLAN6に接続し、このサーバ5によってクライアントコンポーネントのインストール処理を行うようにした方が、ドメインコントローラとなるサーバの負荷を低減させ、システム全体の処理効率を向上することができる。

【0055】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、管理者によって指定された特定サーバのみにクライアントコンポーネントをインストールするクライアントコンポーネントを準備しておき、クライアントからのログオン要求を受け付けたドメイン内のサーバが、上記特定サーバに準備されているクライアントコンポーネントをインストールするための処理が記述されているログオンスクリプトをログオン要求元のクライアントに通知するようにしたので、ドメイン内の全てのサーバにクライアントコンポーネントを準備しておくことなく、クライアントにクライアントコンポーネントをインストールすることができる。この結果、ドメイン内の全てのサーバにクライアントコンポーネントを準備しておく必要がなかった従来の技術に比較して、サーバのリソースを少なくすることが可能になる。

【0056】更に、本発明は、ログオンスクリプトにクライアントコンポーネントのインストールが済んでいるか否かを判断する処理の記述を含ませ、クライアントコンポーネントのインストールが済んでいない場合のみクライアントコンポーネントをインストールさせるようにしたので、既にインストール済みのクライアントコンポーネントに対して何回もインストール処理が行われないようにすることができる。

【0057】また、本発明は、ドメインに含まれないサーバをネットワークに接続し、このサーバを利用してクライアントコンポーネントのインストールを行うようにしたので、ドメインコントローラとなるサーバの負荷を低減させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】サーバ11, クライアント3, サーバ5の構成例を示すブロック図である。

【図2】本発明の方法を適用するコンピュータネットワークシステムの一例を示す図である。

【図3】ドメインユーザ管理情報の内容例を示す図である。

【図4】ドメインユーザ管理情報操作手段51の処理例を示す流れ図である。

【図5】コンポーネント準備手段52の処理例を示す流れ図である。

【図6】ドメインユーザ管理手段の処理例を示す流れ図

11

12

である。

【図7】ログオン受け付け手段の処理例を示す流れ図である。

【図8】ログオン実行手段の処理例を示す流れ図である。

【図9】設定画面の一例を示す図である。

【図10】変更処理が行われる前のドメインユーザ管理情報の内容例を示す図である。

【図11】変更処理が行われた後のドメインユーザ管理情報の内容例を示す図である。

【符号の説明】

1 …ドメイン

11 …サーバ(プライマリドメインコントローラ)

111-11 …ドメインユーザ管理手段

112-11 …ドメインユーザ管理情報

113-11 …ログオン受け付け手段

114-11 …ログオンスクリプト記憶手段

12 …サーバ(バックアップドメインコントローラ)

2 …ドメイン

21 …サーバ(プライマリドメインコントローラ)

22 …サーバ(バックアップドメインコントローラ)

3 …クライアント

31-3 …ログオン実行手段

4 …クライアント

10 5 …サーバ

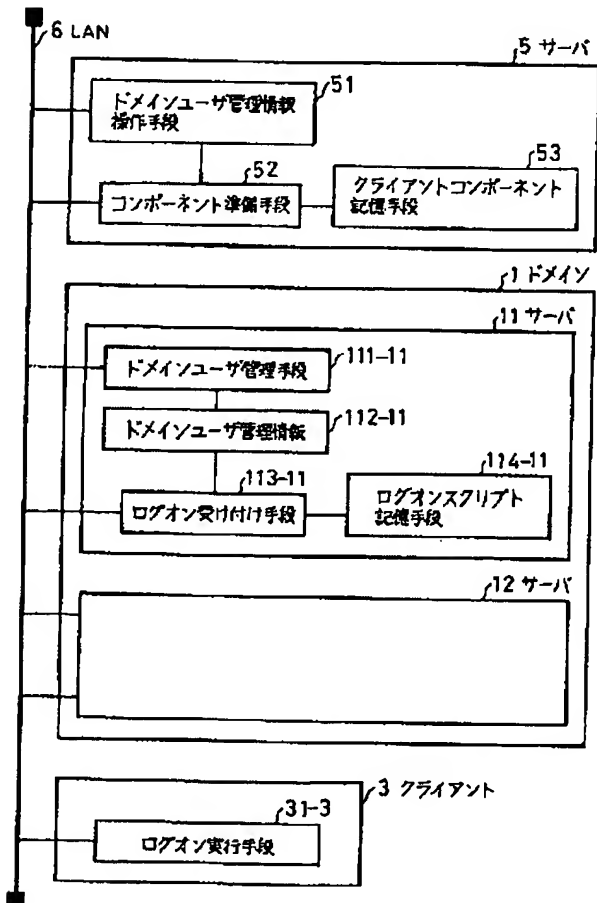
51 …ドメインユーザ管理情報操作手段

52 …コンポーネント準備手段

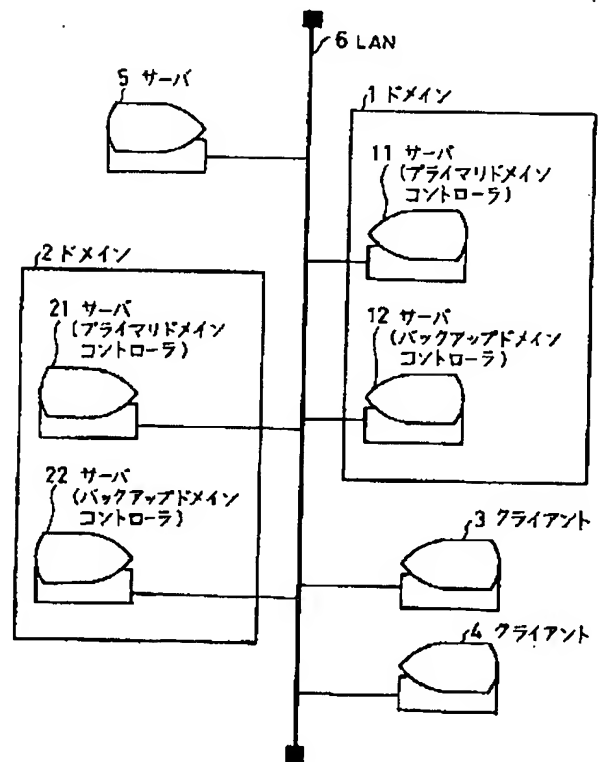
53 …クライアントコンポーネント記憶手段

6 …LAN

【図1】



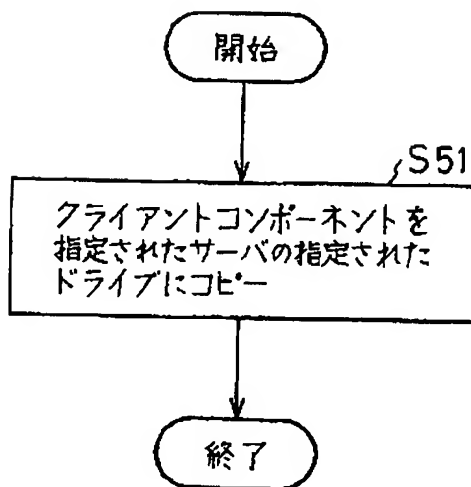
【図2】



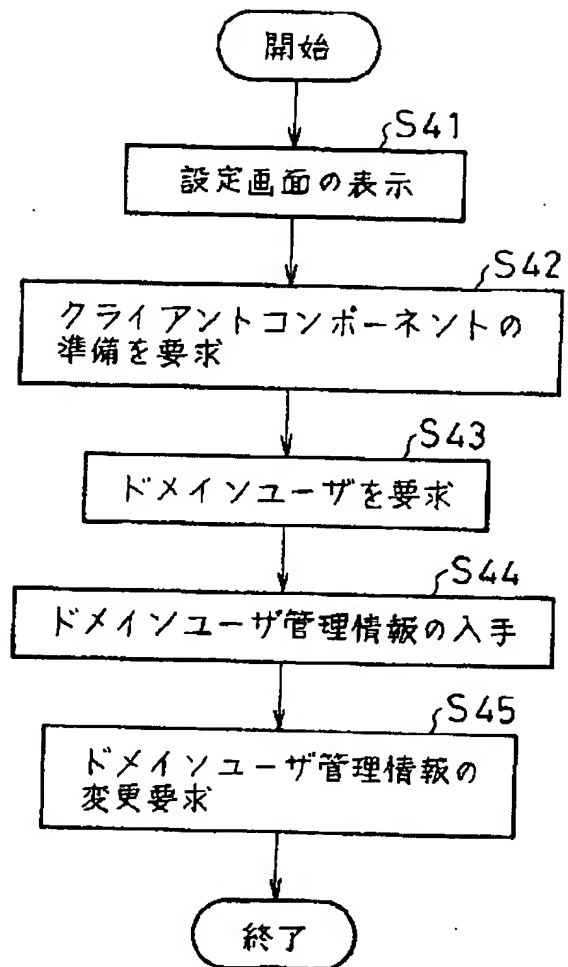
【 図3 】

アカウント名	ログオンスクリプト名	認証情報
USR1	LS1	PASS1
USR2	—	PASS2

【 図5 】



【 図4 】



【 図9 】

設 定 画 面

クライアントコンポーネントを
準備するサーバ、ドライブ

SERVER5
DRIVE C

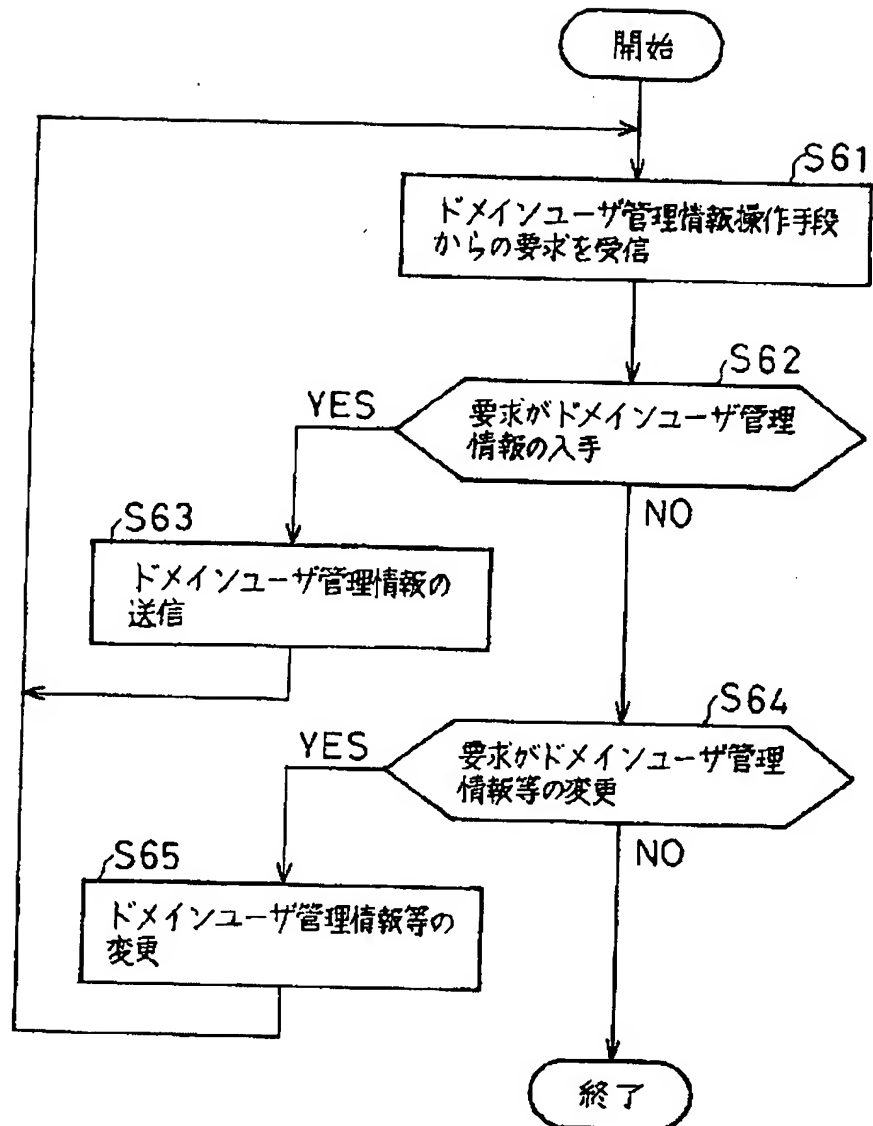
対象とするドメイン

DOMAIN 1
DOMAIN 2

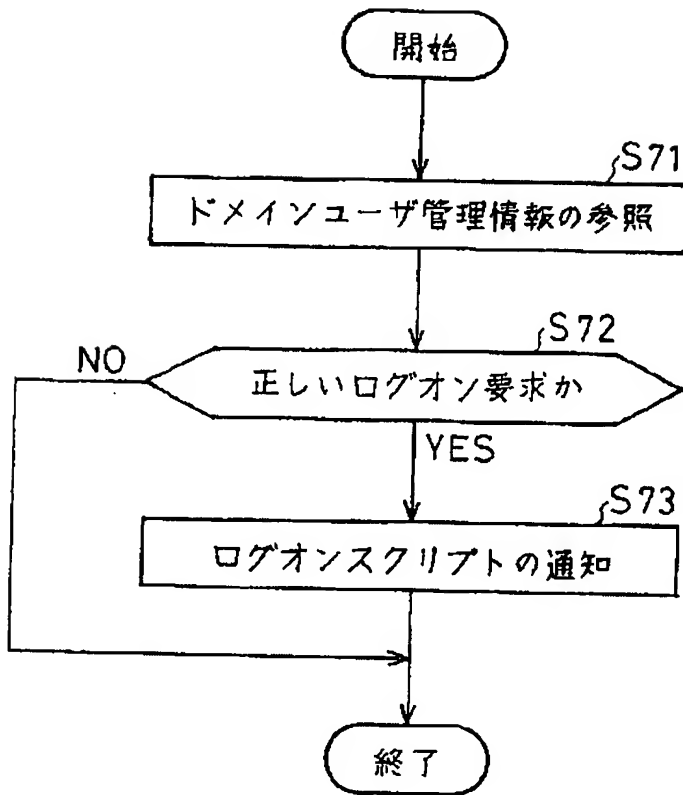
OK

キャンセル

【 図6 】



【 図7 】



【 図10 】

ドメイン1のドメインユーザ管理情報

アカウント名	ログオンスクリプト名	認証情報
USR1	LS1	PASS1
USR2	-	PASS2

ドメイン2のドメインユーザ管理情報

アカウント名	ログオンスクリプト名	認証情報
USR3	LS2	PASS3
USR4	-	PASS4

【 図11 】

ドメイン1のドメインユーザ管理情報

アカウント名	ログオンスクリプト名	認証情報
USR1	LS1	PASS1
USR2	LS3	PASS2

ドメイン2のドメインユーザ管理情報

アカウント名	ログオンスクリプト名	認証情報
USR3	LS2	PASS3
USR4	LS3	PASS4

【 図8 】

